

別記

第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	H29年 6月 15日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) (届出者) 東京都墨田区両国二丁目10番14号 電話 03-5600-1488 (代理者) 京都府長岡京市開田一丁目6番6号 電話 075-951-1181	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) (届出者) 三菱製紙株式会社代表取締役社長 鈴木邦夫 (代理者) 三菱製紙株式会社京都工場 常務執行役員工場長 藤田 誠

環境マネジメントシステムの名称	ISO 14001
適用範囲	三菱製紙株式会社 京都工場
導入年月日	1999年 12月 3日
認証番号	JQA-EM0621
基本方針	(1) 地球温暖化対策の推進 (2) 資源の循環利用の推進 (3) 環境負荷の少ない生産技術・製品の開発 (4) 環境管理システムの充実 (5) 環境コミュニケーションの充実 (6) 緊急時の適切な対応
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	○排水量の削減(排水の有効活用): 1200m ³ /月 (2m ³ /hr) ○エネルギー原単位向上: 前年度比 1%向上 ○ゼロエミッションの維持向上 最終処分量発生原単位: 0.1kg未満/千m ² ○工場緑化率13%の維持
目標を達成するための取組の内容	○排水量の削減(排水の有効活用) ・排水データを注視しながら、排水を有効活用する。 ○ゼロエミッションの維持向上 ・廃棄物の有効利用と生産歩留向上。 ・廃棄物処理法の遵守。 ○エネルギー原単位向上 ・エネルギープロジェクトの取り組み。 ・生産性向上への取り組み。 ○工場緑化率13%の維持 ・構内緑地の点検、整備
目標を達成するための取組の進捗状況	○排水量の削減(排水の有効活用) ・引き続き排水の有効利用を実施中。2.8m ³ /hrの排水を有効活用している。 ○ゼロエミッションの維持向上 ・廃棄物の分別を更に呼びかけ、引き続き推進中。最終処分量発生原単位: 0.025kg/千m ² ○エネルギー原単位向上 ・不稼働時のエネルギー削減、ピーク電力カット、更なる生産性向上に向けた省エネの取り組みを推進したが、生産量減少により3%悪化した。 ○工場緑化率13%の維持 ・工場外周の緑地整備を実施。低木、地被類の植栽を実施。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	ほぼ当初の計画どおりに取り組むことが出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守については、年間計画を立て、専門委員会の維持目標として実施している。違反や指導は無かった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントの目標及び取組について、概ね正常なシステム運用が出来ている。また、外部クレームが0件であったのは非常に評価できる。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。